

2018年度 東京大学バリアフリーシンポジウム

東京大学バリアフリー支援室

15年の歩みと今後の課題

インクルーシブ社会における包括的支援×大学



東京大学バリアフリー支援室は、今年度、設立15周年を迎えます。日々新たな課題に直面しながらも、本学では、全ての構成員による「バリアフリーの東京大学」を実現すべく、前例のないさまざまな取組みに挑戦し続けてきました。本シンポジウムでは、東京大学の「支援」「施設」「雇用」における取組みの過程と現状、課題を共有し、有識者による先進的な取組み例の提示とともに、今後のインクルーシブな社会における高等教育機関のバリアフリーの在り方について展望します。

会場 東京大学本郷キャンパス 国際学術総合研究棟3番大教室

定員 250名

参加費 無料（事前登録が必要です）

主催 東京大学バリアフリー支援室

共催 障害と高等教育に関するプラットフォーム形成事業（PHED）
REDDY（多様性の経済学）
教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター

プログラム

〈第一部〉「バリアフリーの理念と実践」から「合理的配慮の提供」の時代へ

「バリアフリーの東京大学 ～15年のあゆみ～」
中津 真美（バリアフリー支援室特任助教）

〈第二部〉「課題解決」をめざして～海外事例から考える～

「制度の谷間の支援」

李 養淑（忠北大学 障害者支援センター主務官）

「単なるアクセシビリティを超えたユニバーサルデザイン」

西出 和彦（バリアフリー支援室本郷支所長／工学系研究科教授）

「海外の事例を日本に落とし込んだ仕組みや取組み、多様な働き方の拡大」

高橋 桐子（先端科学技術研究センター特任准教授／PHED）

〈第三部〉「バリアフリーの東京大学」実現のために

パネルディスカッション

司会：熊谷 晋一郎（バリアフリー支援室長）

パネリスト：李 養淑、西出 和彦、高橋 桐子

垣内 千尋（バリアフリー支援室准教授）

お申し込み

①または②から申込フォームへアクセスしてください。

①バリアフリー支援室 HP：http://ds.adm.u-tokyo.ac.jp/

②右記 QR コード

※情報保障：手話通訳、音声認識による文字通訳、ヒアリンググループ

※その他、配慮が必要な方は右記申込フォームからお申し出ください。

締切：11月4日（日）定員に達し次第、受付終了



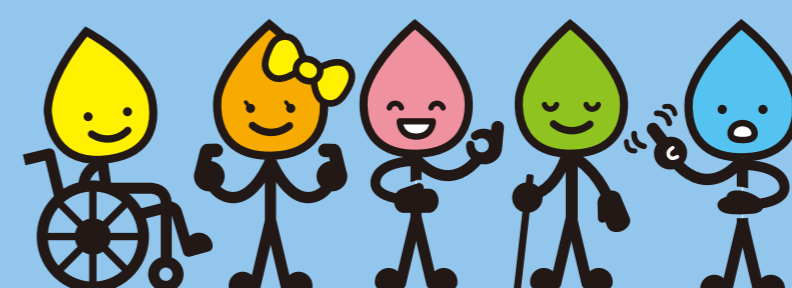
お問い合わせ

東京大学
バリアフリー支援室 本郷支所

TEL：03(5841)1715 FAX：03(5841)1717

E-mail：spds-staff.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

バリアフリー支援室 HP：http://ds.adm.u-tokyo.ac.jp/



東京大学バリアフリー支援室 キャラクター
「ことだま」